

# 令和3年度実績概要

# 1 令和3年度の実績概要

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、令和3年4月20日から6月20日にまん延防止等重点措置、7月22日から9月30日に緊急事態宣言、令和4年1月21日から3月21日に再びまん延防止等重点措置が神奈川県に発出され、不要不急の外出自粛の呼びかけや飲食店等の営業時間の短縮要請がされました。

当該感染症の収束の見込みが立たないことから、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会が一年の延期を経て開催されましたが原則無観客での実施となり、令和2年から開始したGoToトラベルなどの観光需要喚起策も一時停止となっています。

鎌倉市においても、2年連続で鎌倉花火大会や市内海水浴場の開催及び開設を断念するなど各行事の実施制限が続いています。

鎌倉市では、来訪者に対する当該感染症対策として、夏季の海岸におけるごみの処理や、市内公衆トイレへの自動手洗い器の設置といった観光施設等の衛生対策のほか、GW期間中の小町通りでの呼びかけやポスターの作成などの周知啓発を行いました。

また、従来からの課題である鎌倉の観光名所の混雑対策とも併せて3密回避のため、混雑情報の発信や観光マップの配布を行い分散化を図りました。

JNTOが発表した令和3年訪日外国人旅行客数は前年比94%の減少、鎌倉市の延べ観光客数も前年比11%の減少と前年を下回りました。

今後も新型コロナウイルスと共存した観光施策の推進を前提に、引き続き「成熟した観光都市鎌倉」を目指すための取り組みを進めていきます。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるあらゆる主体が連携・協力して、誰もが「住んでよかった、訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指します。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅰは、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産や、美しい自然景観の保持に努めつつ、それらを観光資源として発展及び向上させることを目標としています。

令和3年度は、令和2年度に引き続き鎌倉花火大会は中止、鎌倉まつりと鎌倉新能は非公開で開催し、オンライン配信としました。

観光課で整備を行っている観光案内板の修繕等については、二階堂及び浄明寺ヘルート板の新設、JR北鎌倉駅前総合案内板及び浄明寺バス停横地区案内板のリニューアル、その他老朽化した案内板等の修繕を行いました。

令和元年度に台風の被害を受けたハイキングコースは、復旧作業を実施し一部通行止めとなっていた天園ハイキングコースを全面開通しました。



開通した天園ハイキングコース



リニューアルしたJR北鎌倉駅前総合案内板

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅱは、市民生活と観光振興の両立を図り、市民の観光に対する理解を向上させることで、成熟した観光都市鎌倉をつくりあげることが目標としています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、危機管理の観点からも安心した市民生活を維持できるよう、訪れる観光客に対する当該感染症対策の呼びかけを行いました。

海水浴場は2年連続で開設を断念しましたが、海岸来訪者の安全対策、海岸付近の風紀維持及び当該感染症対策の周知啓発のため、ライフセーバーや警備員を配置し海岸監視やパトロール等を実施しました。

当該感染症対策については、ホームページや Twitter でも定期的に周知を行い来訪者へ感染症対策を徹底した鎌倉観光をお願いしています。

また、主に小町通りで見受けられる食べ歩きはマスクを外して食べながら歩くことで飛沫が飛び散り感染の恐れがあることから、例年来訪者の多いゴールデンウィーク期間は、観光課職員が小町通りで来訪者に直接マナーの呼びかけを行いました。



目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅲは、観光の形態や属性に関わらず、観光客の誰もが鎌倉の観光に対して高い満足感を抱き、安全で快適な環境のもと鎌倉の魅力や価値を学び楽しむことができることを目標としています。

市民団体「鎌倉・文化の森」との協働事業を2年ぶりに再開し、例年発行しているマップ「鎌倉」をリニューアルしました。

また、同じく市民団体「鎌倉シチズンネット」との協働事業では、観光協会ホームページ「鎌倉観光公式ガイド」の見直しを行いコンテンツの充実を図りました。

また、従来からの課題である鎌倉の観光名所の混雑対策及び新型コロナウイルス感染症対策のため、株式会社 NTT ドコモのモバイル空間統計を活用してリアルタイムの市内各所の混雑状況を発信しました。



マップ「鎌倉」の鎌倉市域図



鎌倉観光公式ガイド

## 目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

目標Ⅳは、観光の振興や観光産業に携わっている民間事業者や関係団体が、その活動にやりがいを感じ活躍することができる地域社会の生成を目標としており、「歩く観光」「泊まる観光」を推進することでより多角的な観光消費の拡大を目指しています。

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映を契機に、コロナ禍で低迷した地域経済の活性化や観光客の集中地域以外への誘客等を図るため大河ドラマ館の設置やゆかりの地のPRといった大河ドラマに関連した施策を実施しています。

また、石川県小松市で開催されたイベント「日本遺産サミット in 小松」に参加し、構成文化財のひとつである伝統工芸品「鎌倉彫」のPRを行いました。



左)大河ドラマ館

下)大河ドラマ ホームページメインビジュアル



日本遺産サミット in 小松 展示ブース